

拠点づくり



浦和美園駅周辺

駅と「埼玉スタジアム2002公園」の開設、都市開発の開始から20年を迎える美園地区。都市と自然が融合した“ゆとりある”郊外住宅地が誕生しました。今なお人口増加が著しく、更なる成長と発展が期待されます。また、地区のシンボルである「埼スタ」は浦和レッズの本拠地。サッカー試合開催時にはまちに情熱が生まれます。



浦和美園駅



市ウェブサイト



浦和美園まちづくり事務所公式 twitter



提供:(一社)美園タウンマネジメント
みそのウイングシティ航空写真

都市基盤整備の推進

総面積約320ha・計画人口約32,000人の大規模な土地区画整理事業(愛称:みそのウイングシティ)を推進。平成18年の浦和美園駅東口のまちびらき以降、住宅・店舗等の建設や学校・公園等の整備が進み、平成29年にはUR都市機構施行区域(約260ha)の事業が完了。まちづくりは基盤整備から“整備された基盤をどう活かすか”にシフトしてきています。



提供:みその都市デザイン協議会

埼スタ内観

「スタジアムタウン」の実現

これからの時代の“まち”を地域主導で創造していくためのまちづくり拠点施設として「アーバンデザインセンターみその(略称:UDCMi)」が平成27年にオープン。人々を惹きつける「スタジアムタウン」の実現を目指しています。UDCMiを拠点に、“一人ひとりがまちづくりのプレイヤーであり、サポーターとなる”という活動理念のもと、住民や企業、研究機関と連携しながら、土地区画整理事業により整備された都市基盤を生かしつつ、都市空間の高質化などさまざまな取組を展開しています。

アーバンデザインセンター
みその(UDCMi)の情報はこちら



UDCMi公式ウェブサイト



UDCMi公式twitter

オープンスペースを活用した“にぎわいづくり”

「埼スタ」に隣接する河川調節池(大門上池調節池)内に広場を整備。市民の日常の健康づくり、スポーツ活動の場となっており、イベント開催等による“にぎわいづくり”も今後期待されます。また、道路や公園の利活用による“にぎわいづくり”も進めています。



提供:(一社)美園タウンマネジメント

子育て交流ワークショップ@浦和美園4丁目公園



提供:(一社)美園タウンマネジメント

浦和美園駅東口駅前通り線



綾瀬川遊歩道

「綾瀬川」を生かした「川まちづくり」

まちなかを流れる綾瀬川に遊歩道を整備。水辺を感じながら、気持ちよく歩くことができます。

過去の関連記事はこちら



提供:(一社)さいたまスポーツコミッション

アパンススポーツ体験イベント@大門上池調節池広場

与野駅周辺

さいたま新都心への南の玄関口

全国に先駆けて、区画整理と再開発の合併施行を実施。西口の駅前交通広場や駅前通線を整備し、駅前通線では電線類を地中化して大正ロマン風の街路灯を設置。趣のある景観が創出されています。



関連ページはこちら



駅西口の駅前交通広場と駅前通線

Before



昭和33年の駅前通り



区画整理など

まちづくりの要となる駅やその周辺で、それぞれの地区の特色を生かしながら、安全で快適な環境の整備を進めてきました。

岩槻駅周辺

城下町を象徴する回遊拠点に

平成29年に完成した橋上駅舎は、和風建築の特徴のひとつである「白壁」をイメージしたデザイン。東口しかなかった駅に西口を開設し、西口駅前交通広場を整備しました。エスカレーターやエレベーターはもちろん、観光案内所も設置。駅周辺のにぎわいと活力を再生、創出することが期待されます。

岩槻の歴史とまちづくりに
関する記事はこちら



整備後の岩槻駅

Before



整備前の駅東口



西大宮駅周辺

西区の地域生活拠点に

平成21年に新たに開業。駅の南北を結ぶ自由通路とともに、北口側では、駅前交通広場やアクセス道路、周辺には区役所などの公共施設を整備し、豊かな自然と調和したまちづくりを進めてきました。現在、北口側に続き南口側の整備が進行中です。

過去の関連記事はこちら



駅の北口

Before



整備進行中の駅南口周辺

日進駅周辺

日進七塔通りを変えた地域住民の力

平成22年の橋上化に伴い、南口しかなかった駅に北口を開設。駅前交通広場や周辺道路を整備しました。駅に続く日進七塔通りの美化を進め、無電柱化とともに、歩道の確保を実現。市と地域住民との協働により安全で美しい通りに生まれ変わりました。

関連ページはこちら



駅南口の駅前交通広場から続く日進七塔通り

Before



新たに開設された駅北口